



五感をゆさぶる自然素材と「子どもあそび」の深まり

12月

木

わぁー橋だぁ!! 落ちるー



ほめてあげるー!

・2人で3回、回ってあそぶ。



ジャンケンポン! あ! 勝ったー! おりてー



↑一人の子が橋になっている板を渡ってあそんでいると、友達も真似て一緒にあそびます。また別の子が反対から来ると、ジャンケンをして勝った方が通れるゲームが始める。

↓一人の子が木ぎれを組み合わせるあそびをしていると、友達が手伝いに来て一緒に協力して家作りを楽しんでいる。



家作ってるんだよ

ほめて手伝



・地面から少し浮いた家を作ろうとしている。



壊れないか、乗って確かめて、ぐらぐらする所の下に木ぎれを入れている



ここにもっと入れなきゃ



もって来持ってきたよ!

はい! 持ってきたよー



大きくなってきた! まだ?

うー、重たい。



←木ぎれを組み合わせるで作った作品たち。



・年長児と保育者が木を組み立てて家を作っているところを見て、3歳児の子も木を運ぶのを手伝いに来る。

家には草を脱いで入るように、靴箱も作っていた。

はい! ここ靴箱ぞう! 草はぬいぞー



人が増えたので、くまも入れてみる。



お風呂だよ 植物

←イチゴの葉、はちまを集めてお風呂ごっこ。

板と木ぎれを手な板と包丁に見立て、草を切ってお風呂ごっこあそびに使っている。

